



寺内 亮一氏



神谷 篤氏

(全鍍連会長)

(神谷会長)

(日本電鍍工業社長)

(日本電鍍工業社長)

青年部会にかける期待や意気込みについて、全国鍍金工業組合連合会の神谷篤会長(左)、日本電鍍工業社長(右)に聞いた。

全鍍連 青年部会が始動

全国鍍金工業組合連合会(全鍍連)の青年部会が本格始動した。メツキ業界の次代を担う経営者や後継者の交流組織として2024年10月に設立。1日に金沢市で第1回全国大会を開いた。景気の先行き不透明感や後継者不足など、業界を取り巻く課題は山積している。その中で青年部会として結束を固め、業界発展に寄与できるか。真価が早くも試されそうだ。

メツキ 次代の経営者交流

従来、全鍍連は

年部会を開いて

いた。たゞ、年1回の開催では交流が不十分なほか、青年部がない場合満足度が高かつた

全鍍連青年部会が約140人が集まり、青年部会への関心の高さを示した。今後の活動の参考にするため、先行して「青年部」が開催された。若手経営者を中心としたパ

出展や勉強会、I.O.T.(モノのインターネット)人材育成などの事例が報告された。若手経営者を中心としたパ

全国大会には関係者、事業を紹介。展示会の

約140人が集まり、青年部会への関心の高さを示した。今後の活

動の参考にするため、先行して「青年部」が

開催された。若手

経営者を中心としたパ

業界発展に寄与できる

年部会を開いて

いた。たゞ、年1回の開催では交流が不十分なほか、青年部がない場合満足度が高かつた

年部会を開いて

いた。たゞ、年1回の開催では交流が不十分な

年部会を開いて

いた。たゞ、年1回の開催では交流が不十分な

このため、全鍍連の

総務委員会を中心に23

年夏から本格的に青年

部会設立の検討を始

め24年10月に組織化

した。

今後はメツキの技術

動向や経営上の悩みな

どを共有し、交流や意

見交換できる機会を増

やしていく。全鍍連の

各委員会とも連携し

「全国めつき技術コン

クール」や先輩経営者

との意見交換などを図

り、年部会に期待する

ことは。

企業の賛助会員も対象

とした。メツキ事業者

による「オールワント

体制」で業界発展に努め

る。

スズキは船外機の工

スズキ部品のシリンド

ームプロックやシリンダ

ーへッド、クリンクケ

ースに、高温にも耐え

られる耐食性のアルマ

イト処理を施す新技術

を開発した。2024

年に、高溫にも耐え

る部品にむらなくアル

マイト処理を施すこと

ができる。

船外機はエンジン冷

却のために大量の海水

などを汲み上げながら

航航するため、冷却水

だけではなく、海水に対する耐

性を高められる。

順次採用する。

従来の耐食性向上の

ための表面処理に必要

な塗装の乾燥

費用が不要で、二酸化炭

素(CO₂)排出量を

従来工法比約50%削減

できる。

これまでに幅広く対応す

る。消費税抜きの価格

は78万6000円か

ら。

通信事業者や電気通

リーズ=宮眞一

を発売した。

操作性の作業効率を

高める新機能を搭載

し、2波長または3波

信ネットワーク工事会

による新機能を搭載

する。

同シリーズは、堅牢

簡単で測定できる。

操作性の高い測定

結果が得られる。

動作により、過酷

な現場条件下でも

信頼性の高い測定

結果が得られる。

電源投入後10秒で測定

横河計測

（東京都八

長の標準モデルと機種

F140B）の一

部仕様に量産機種

として初採用し

た。量産船外機の

は、光通信ネットワー

ーの敷設や保守の測定

装置もある部

だ。

た。

な。

が、より効率的

なり、より効率的

に作業可能で現場

で使いやすさを追求

したこと、後付け

機器に慣れないコ

ーナーでもボタン一つで

簡単に測定できる。

ザーでもボタン一つで

簡単に測定できる。

での使いやすさを追求

したこと、後付け

機器に慣れないコ

ーナーでもボタン一つで

簡単に測定できる。

での使いやすさを追求

したこと、後付け

機器に慣れないコ